

精華町学校給食基本構想策定に向けた
住民アンケート調査結果

1. 調査概要 1

2. 調査結果 2

(1) 回答者属性.....	2
(2) 財政や保護者の負担が増しても精華町がめざすべき学校給食.....	4
(3) 学校給食を通じた食育として期待すること.....	5
(4) 中学校給食施設をまちづくりの施設として捉えた場合に必要な機能.....	7
(5) 地域資源を活かした学校給食のアイデア.....	8
(6) 学校給食の民間委託のイメージ.....	10
(7) 食べてみたい学校給食のメニュー.....	11
(8) 自由記述.....	12

■資料編 調査票

1. 調査概要

(目的)

「町立中学校における学校給食の実施に関する基本的事項」をもとに、センター方式により、町内全3中学校同時に、すべての生徒を対象とした中学校給食を実施予定である。この中学校給食の実施により食育をさらに充実させるため、「学校給食基本構想」の策定を進めており、その基礎資料とするために実施した。

(調査期間)

平成29年2月10日（金）～2月24日（金）

(調査対象・方法)

無作為抽出した18歳以上の住民2,000人（平成29年1月31日現在）

郵送による配布・回収

(回収率)

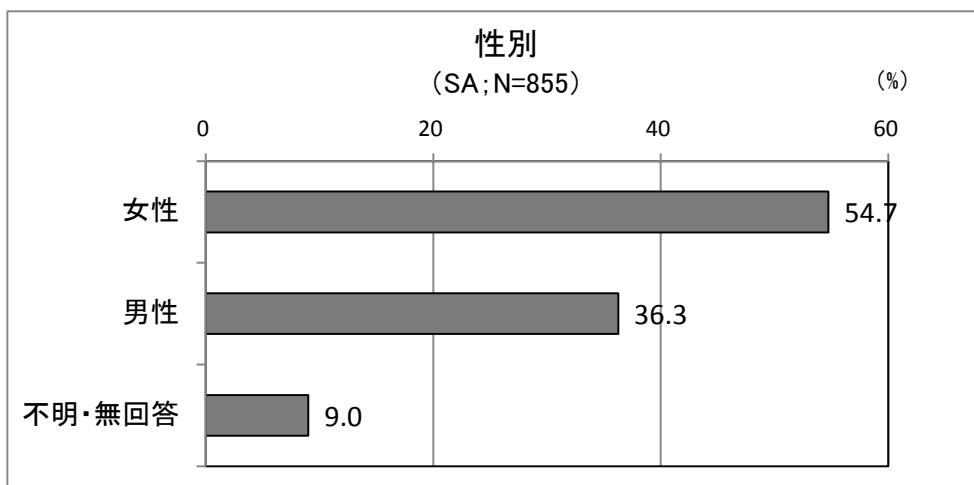
42.7%（配布数：2,000件／有効回答数 855件）

2. 調査結果

(1) 回答者属性

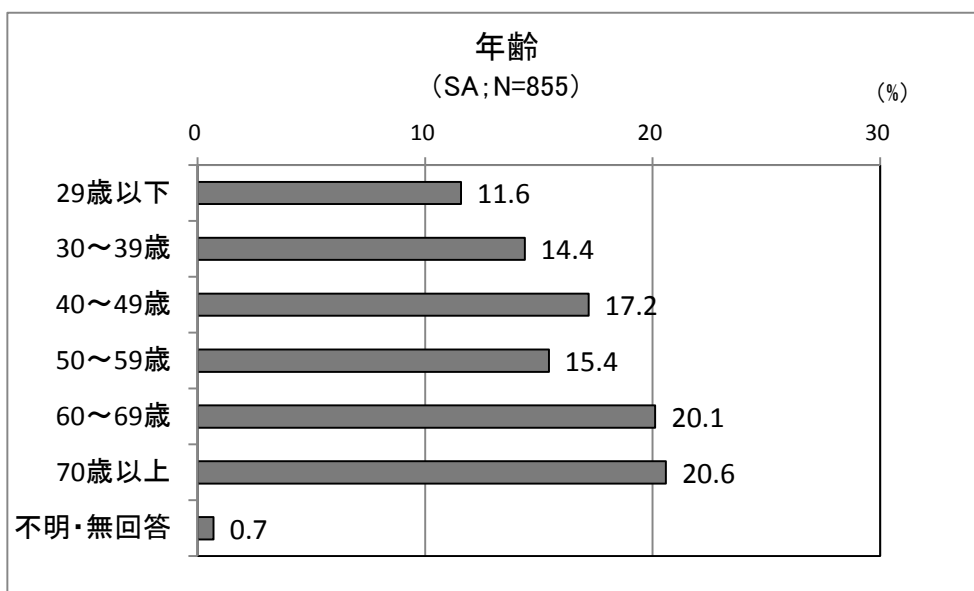
【性別】

「女性」が54.7%、「男性」が36.3%となっています。



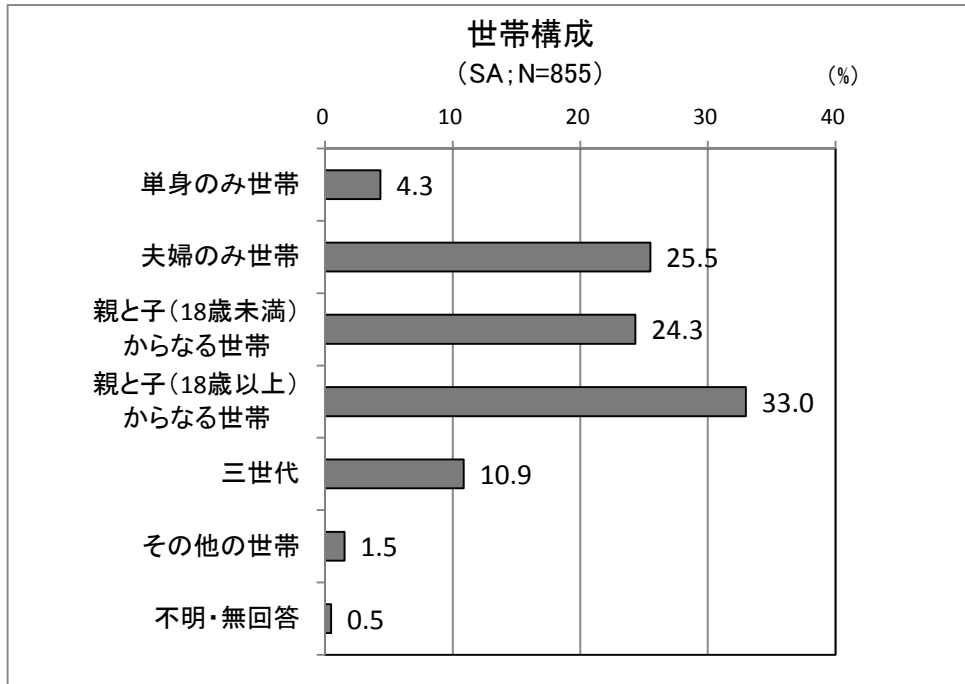
【年齢】

「70歳以上」が最も多く20.6%、次いで「60～69歳」が20.1%、「40～49歳」が17.2%、「50～59歳」が15.4%、「30～39歳」が14.4%、「29歳以下」が11.6%となっています。



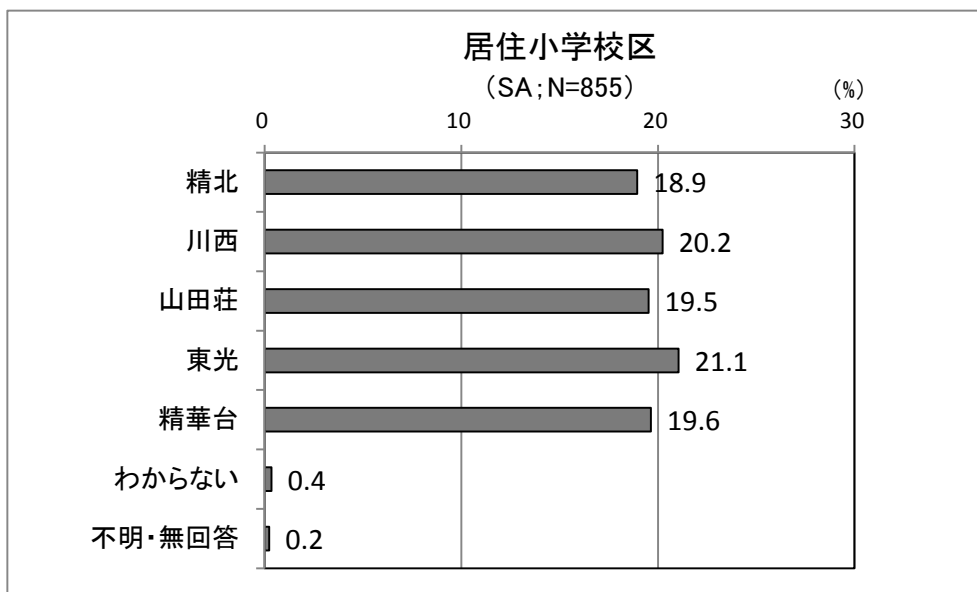
【世帯構成】

「親と子（18歳以上）からなる世帯」が最も多く33.0%、次いで「夫婦のみ世帯」が25.5%、「親と子（18歳未満）からなる世帯」が24.3%、「三世代」が10.9%、「単身のみ世帯」が4.3%などとなっています。



【居住小学校区】

「東光」が最も多く21.1%、次いで「川西」が20.2%、「精華台」が19.6%、「精北」が18.9%などとなっています。

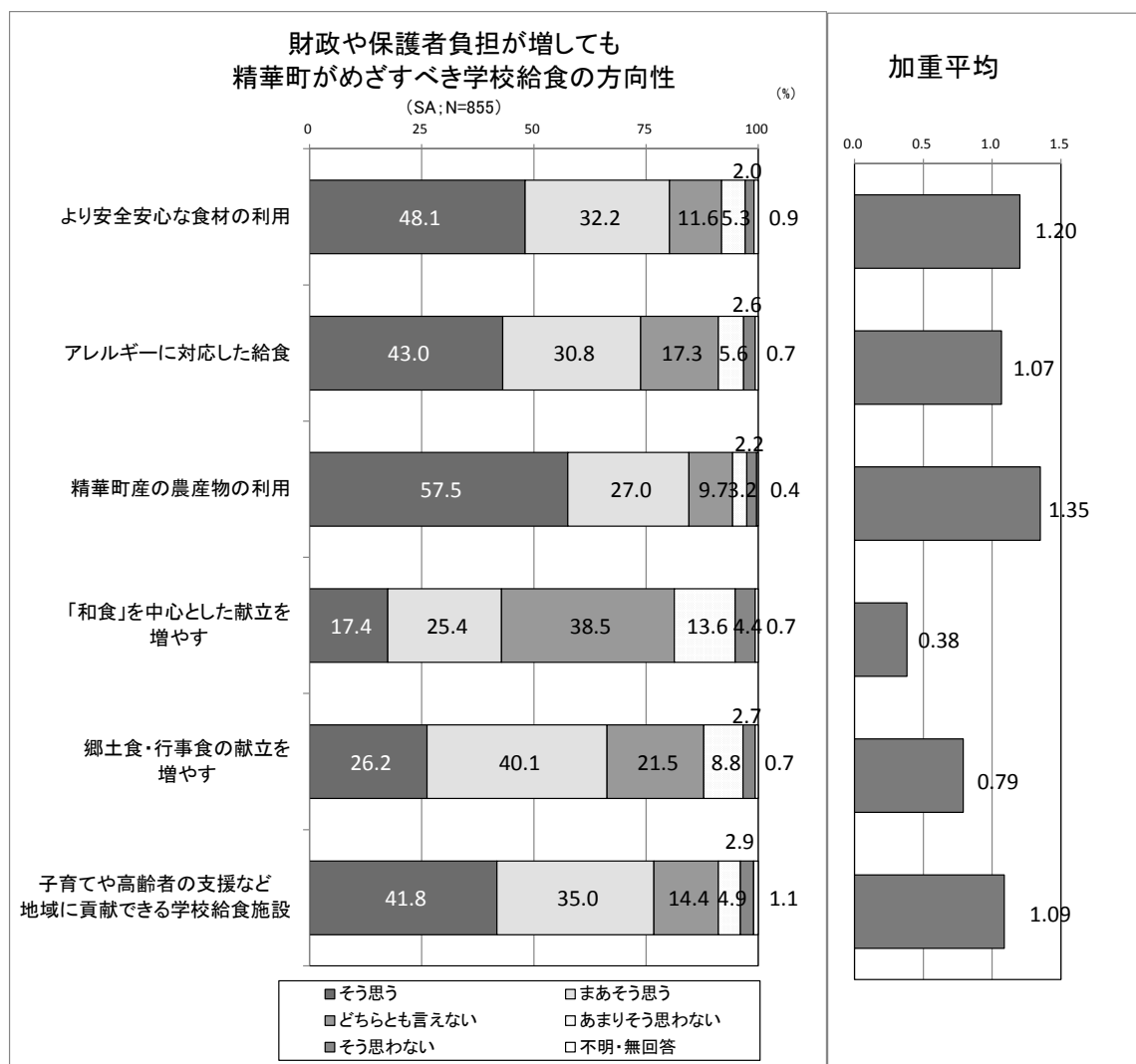


(2) 財政や保護者の負担が増しても精華町がめざすべき学校給食

「そう思う」は「精華町産の農産物の利用」が最も多く 57.5%、次いで「より安全安心な食材の利用」が 48.1%、「アレルギーに対応した給食」が 43.0%などとなっています。

「まあそう思う」は「郷土食・行事食の献立を増やす」が最も多く 40.1%、次いで「子育てや高齢者の支援など地域に貢献できる学校給食施設」が 35.0%、「より安全安心な食材の利用」が 32.2%などとなっています。

加重平均をみると、「精華町産の農産物の利用」が最も高く 1.35、次いで「より安全安心な食材の利用」が 1.20、「子育てや高齢者の支援など地域に貢献できる学校給食施設」が 1.09 などとなっています。

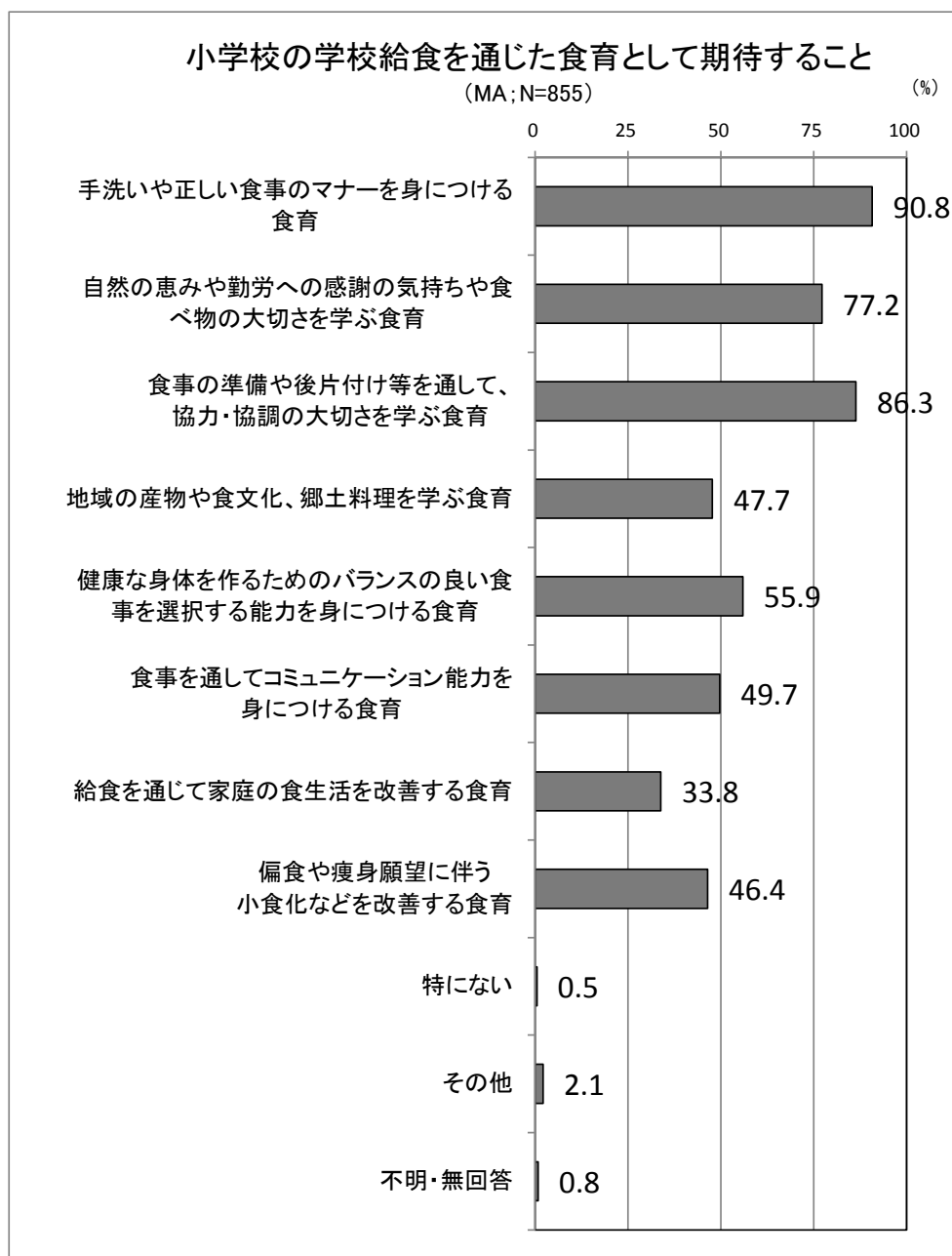


※ 加重平均は「そう思う」2点、「まあそう思う」1点、「どちらとも言えない」0点、「あまりそう思わない」-1点、「そう思わない」-2点の評点を与え、その平均値から計算した。

(3) 学校給食を通じた食育として期待すること

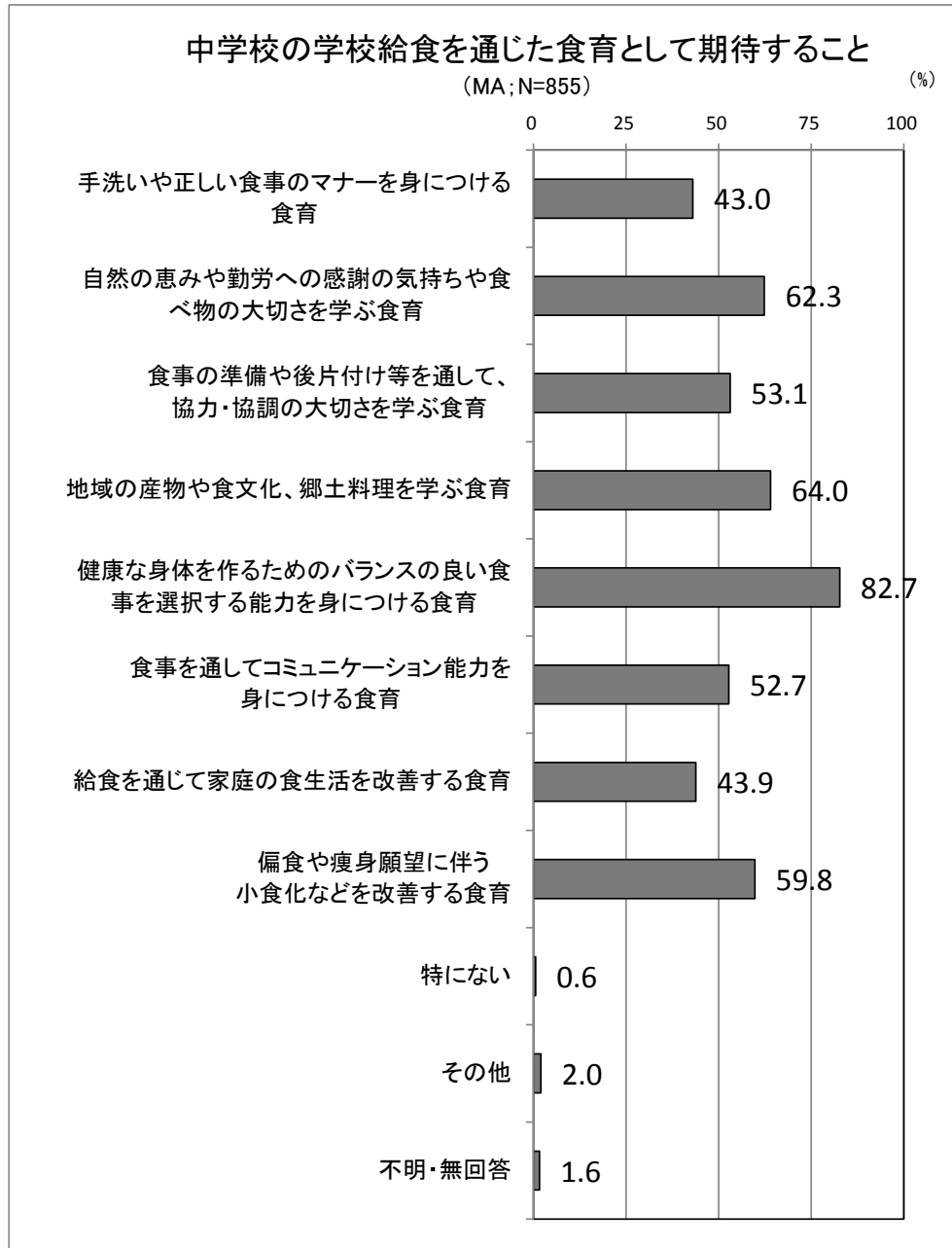
【小学校】

「手洗いや正しい食事のマナーを身につける食育」が最も多く 90.8%、次いで「食事の準備や後片付け等を通して、協力・協調の大切さを学ぶ食育」が 86.3%、「自然の恵みや勤労への感謝の気持ちや食べ物大切さを学ぶ食育」が 77.2%などとなっています。



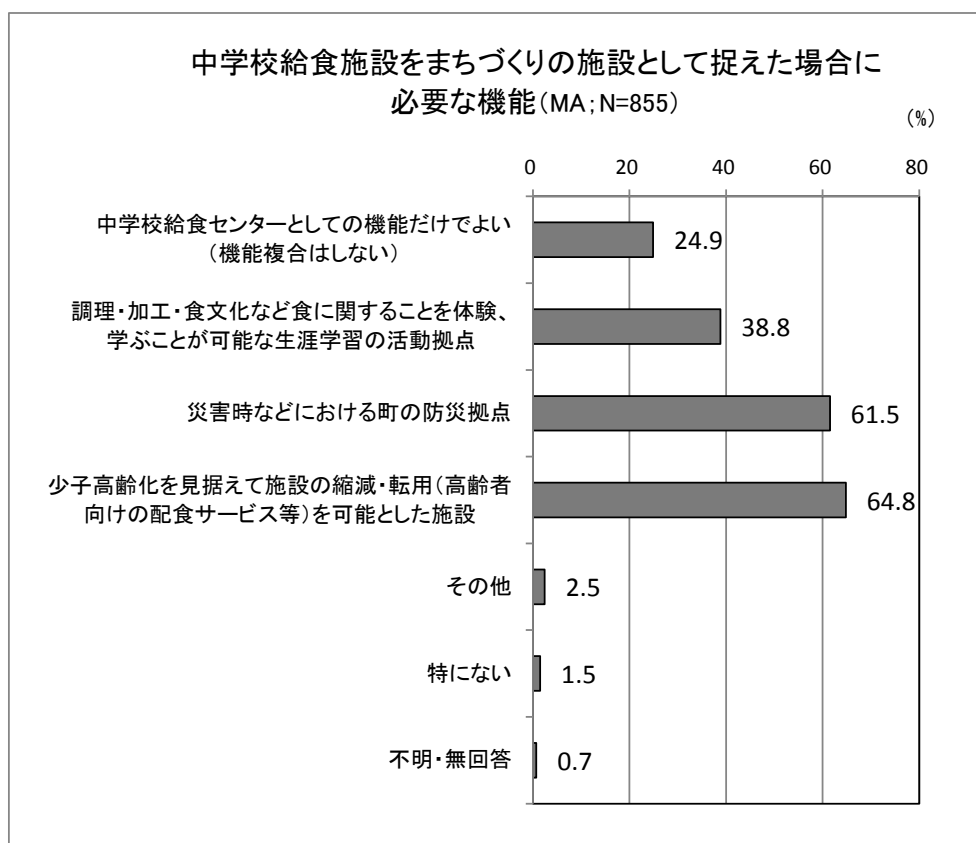
【中学校】

「健康な身体を作るためのバランスの良い食事を選択する能力を身につける食育」が最も多く82.7%、次いで「地域の産物や食文化、郷土料理を学ぶ食育」が64.0%、「自然の恵みや勤労への感謝の気持ちや食べ物の大切さを学ぶ食育」が62.3%などとなっています。



(4) 中学校給食施設をまちづくりの施設として捉えた場合に必要な機能

「少子高齢化を見据えて施設の縮減・転用（高齢者向けの配食サービス等）を可能とした施設」が最も多く 64.8%、次いで「災害時などにおける町の防災拠点」が 61.5%、「調理・加工・食文化など食に関することを体験、学ぶことが可能な生涯学習の活動拠点」が 38.8%などとなっています。



(5) 地域資源を活かした学校給食のアイデア

延べ 273 件の意見があり、下記のようにまとめました。

■ 地元食材の利用 _____ 220 件

○ 野菜をはじめ地産地消の推進 109 件

- ・ えびいも（8 件） えびいもコロッケ、根菜ハンバーグにする
- ・ たけのこ（7 件） 自分で収穫し、たけのこご飯にする
- ・ 洛いも（4 件） お好み焼き
- ・ その他の食材としてあげられたもの（枝豆、万願寺、山菜、スイカなど）

○ いちご 73 件

- ・ いちごジャムやスイーツにして利用
- ・ いちごを自分達で栽培して利用
- ・ いちご狩りをして利用

○ お米 32 件

- ・ JA と連携し、自分達で栽培する。
- ・ 米粉パン
- ・ 米飯を中心とした給食

○ 華工房の特産品 6 件

- ・ 味噌やジャムを活用
- ・ 色々なものを作って給食で活用

■ 学研の企業との連携 _____ 26 件

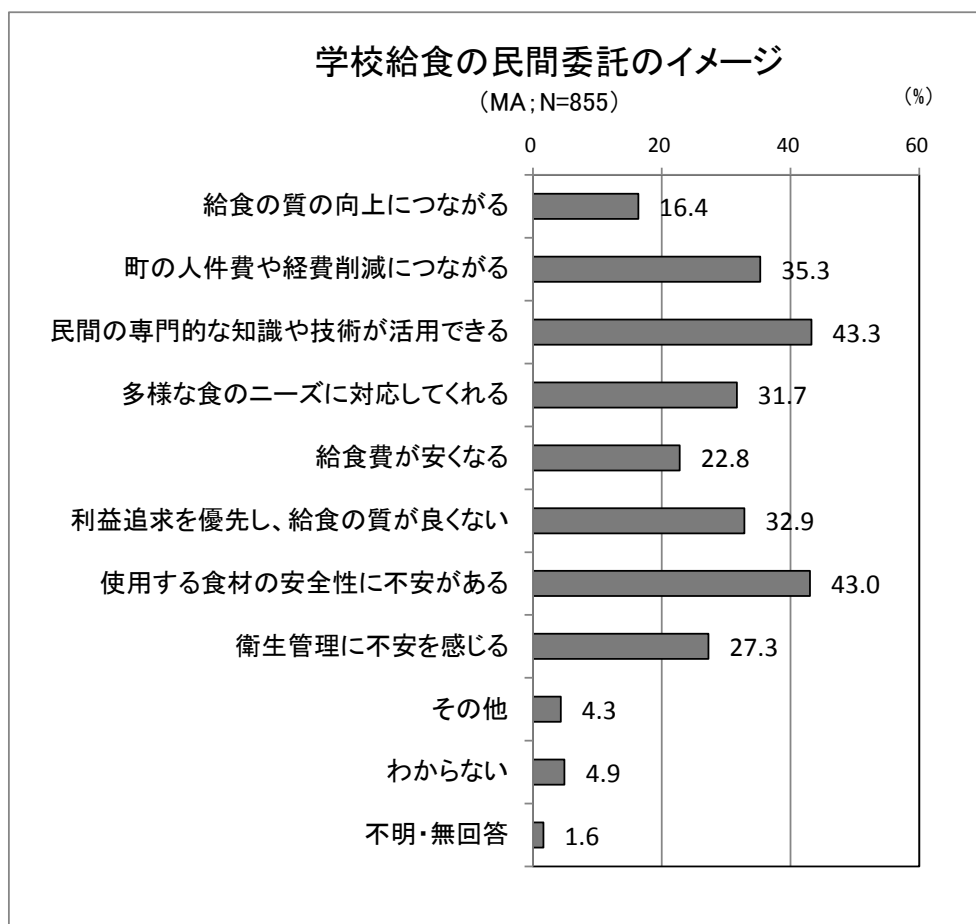
- ・ サントリー研究所や学研の企業とのメニューや、宇宙食や災害食、栄養面、アレルギー対応食などでの研究
- ・ 企業の試食品の配布
- ・ 町の特産物を利用して、企業とコラボレーションしたメニューを考案し、学校給食のメニューとする。良いものは全国に発信する。
- ・ 料理教室、昼食宅配
- ・ 企業の社食の人気メニューを、学校で提供。就職への意欲や町民との交流にもなる。
- ・ 広域的に連携し、IoT を活用した情報発信すべき
- ・ 誘致企業の食に関連する技術を紹介し、企業に生徒が興味を持つきっかけとする。
- ・ いちごの食べくらべ、宇宙食などハイテクノロジーな食事
- ・ 企業内の食堂がなければ、昼食（お弁当など）宅配サービス
- ・ 多数の企業があるので学校給食のアイデアを募る
- ・ 多国籍な研究者がいるので、海外各国の郷土料理等を、月 1 回程給食にして、文化の背景等を勉強する機会にする。

■ その他 27 件

- 農地や空き地を活用して、学校給食用の食材を栽培 6 件
 - ・ 荒地農地と地域の農業者、退職者等が連携を取り、やりがいと利益が生まれるシステムの構築
 - ・ 企業と連携することにより、企業の知識・ノウハウと地元の労働、農地の活用によりアグリビジネスの開拓
 - ・ 自然や環境に配慮した給食センターで出た野菜くず、食べ残しを肥料にして畑に戻して作物を作り給食で使用する収穫は生徒が手伝う。 など
- 異文化にふれる経験 3 件
 - ・ 受け継がれている伝統的な料理、それぞれの国の料理を紹介
- 地域の人材の活用 3 件
 - ・ 郷土料理等献立のアドバイス、行事食の紹介 など
- その他 15 件
 - ・ 月一で地元の甘味（イチゴなど地産のものを使用すること！）を出す
 - ・ 運動会その他の機会に親や生徒達が共に野外で給食（弁当）を食す
 - ・ 竹で作った食器を使う（コップ、箸、椀 ） など

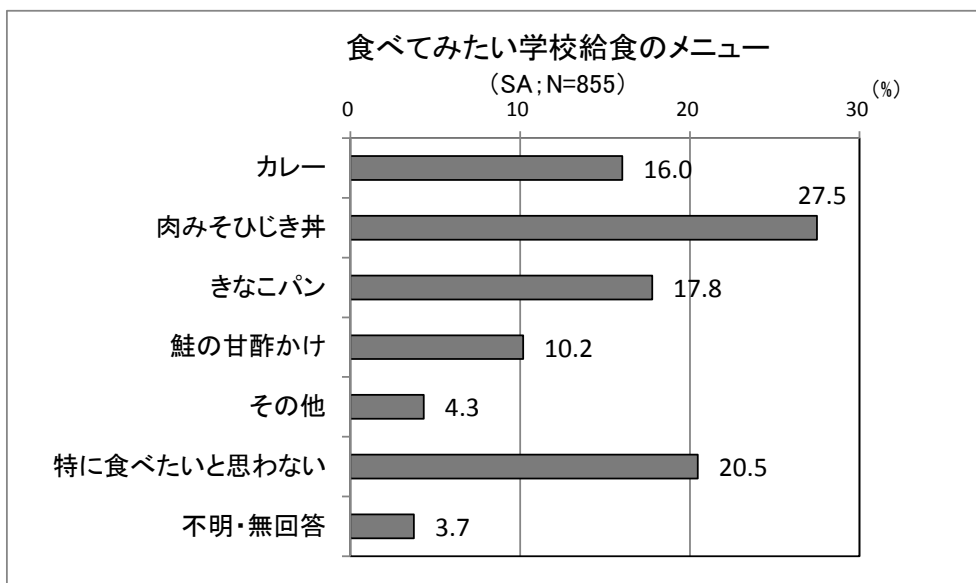
(6) 学校給食の民間委託のイメージ

「民間の専門的な知識や技術が活用できる」が最も多く 43.3%、次いで「使用する食材の安全性に不安がある」が 43.0%、「町の人件費や経費削減につながる」が 35.3%などとなっています。



(7) 食べてみたい学校給食のメニュー

「肉味みそひじき丼」が最も多く 27.5%、次いで「特に食べたいと思わない」が 20.5%、「きなこパン」が 17.8%などとなっています。



(8) 自由記述

延べ 500 件の意見があり、下記のようにまとめました。

- 中学校給食の献立への要望 _____ 132 件
 - 給食が楽しく、思い出に残るよう、献立を工夫してもらいたい 73 件
 - ・ 生野菜がたっぷり食べられる
 - ・ 和食の献立にする
 - ・ 食材の工夫(地元のもの、季節のものなど)
 - ・ あたたかい食事を中心にする など
 - アレルギーがある子どもへの対応を希望する 32 件
 - 栄養バランスのよい献立を考えてもらいたい 27 件

- 中学校給食実施に賛成 _____ 131 件
 - なるべく早期に中学校給食を実施してもらいたい 64 件
 - 共働き世帯、働く母親が増えており、毎日の弁当は大変。
給食を実施してもらいたい 28 件
 - お弁当では栄養バランスや夏場の衛生面に不安がある。
また、温かいものを持たせることが難しく、給食の方が良い。 25 件
 - その他 14 件
 - ・ 小学校の給食がおいしく、子どもが楽しみにしている
 - ・ みんなで同じ給食を食べるのはよい など

- 中学校給食の運営について _____ 121 件
 - 食育を重視した学校給食の運営にする 61 件
 - ・ 偏食をなくす。食事の大切さを学ぶ
 - ・ 残食をなくす取り組み
 - ・ 食べ物の大切さや感謝を学ぶ など
 - 食の安全面、衛生管理に気をつける 46 件
 - 給食センターよりも自校式の方が望ましい 14 件

- 民間委託について _____ 36 件
 - 民間委託をするにあたって 24 件
 - ・ 地域の雇用創出につなげられるようにしてはどうか。
 - ・ 全て民間委託にするのではなく、町としても何かしら関わる必要がある。
 - ・ 適切な業者を公平に選び、経費削減につなげる。 など
 - 民間委託はあまり望ましくない 12 件
 - ・ 中学校給食だけが民間委託なのか。
 - ・ 衛生管理、給食の質に不安を感じる。
 - ・ 民間委託は利益重視となるので、公の運営が望ましい。 など

- その他 _____ 80 件
- 中学校給食に反対である 17 件
 - 給食の無償化に取り組む 13 件
 - 給食費の確実な徴収や未納問題への対応 9 件
 - その他 41 件
 - ・ 給食センターを中心に配食サービス等も対応
 - ・ 完全に給食にするのではなく、お弁当の日も残す
 - ・ 一般の人の給食を食べられるようにする（試食の日をつくる） など

精華町学校給食基本構想策定に向けた 住民アンケート調査

立春の候 皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、日頃より精華町教育行政にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

精華町教育委員会では、「町立中学校における学校給食の実施に関する基本的事項」をもとに、センター方式により、町内全3中学校同時に、すべての生徒を対象とした中学校給食を実施する予定です。そして、この中学校給食の実施により、食育をさらに充実させるため、「学校給食基本構想」の策定を進めているところです。

その一環として、学校給食や食育に関して、住民の皆様のご意見を広くお聞かせいただくため、このアンケート調査を実施することとしました。ご多用のところ誠に恐縮ですが、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、本調査では、平成29年1月31日現在で18歳以上の住民の皆様から無作為にお選びした2,000人の方にご協力をお願いしております。また、ご回答いただいた内容は、すべて統計的に処理し、調査の目的以外に使用することはありませんので、ご安心のうえ、率直なお考えをご記入ください。

平成29年2月

精華町教育委員会

調査票へのご記入にあたって

- あて名のご本人がご回答ください。また、何らかの理由でご本人による記入が難しい場合は、そのお考えをご尊重いただいて代理の人がご記入ください。
- ご回答いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて封をし、

平成29年2月24日（金）までに

お近くの郵便ポストに入れてください。切手は要りません。また、差出人の記載も不要です。

- ご不明の点がございましたら、下記までお問い合わせください。

精華町教育委員会 教育部 学校教育課 担当 山崎
電話：0774-95-1906 FAX：0774-94-5176
e-mail：gakkyou@town.seika.kyoto.jp

■ **あなた（あて名の方）ご自身のことについておたずねします。**

いずれも、平成 29 年 1 月 31 日現在の状況をお答えください。

問 1 性別、年齢は次のうちどれですか。

それぞれあてはまるものを 1 つずつ選んで番号に○印をつけてください。

性別	1 女性	2 男性			
年齢	1 29 歳以下	2 30～39 歳	3 40～49 歳		
	4 50～59 歳	5 60～69 歳	6 70 歳以上		

問 2 あなたの世帯構成は次のうちどれですか。

あてはまるものを 1 つ選んで番号に○印をつけてください。

1 単身のみ世帯	2 夫婦のみ世帯	3 親と子（18 歳未満）からなる世帯
4 親と子（18 歳以上）からなる世帯	5 三世代（親と子と孫）	6 その他の世帯（ ）

問 3 お住まいのある小学校区はどちらですか。

あてはまるものを 1 つ選んで番号に○印をつけてください。

小学校区	1 精北	2 川西	3 山田荘	4 東光	5 精華台
	6 わからない（自治会名などをご記入ください： ）				

■ **精華町の学校給食のあり方などについておたずねします。**

精華町では、小・中学校を通して子どもへの食育の一層の強化を図るため、新たに中学校給食を導入することとしています。

問 4 学校給食における食育の充実のために、従来よりも経費（保護者の給食費や町の予算）が必要となったとしても、以下の①～⑤のような取り組みをすべきだと思いますか。

それぞれの項目について、あてはまるものを 1 つ選んで番号に○印をつけてください。

	そう思う	まあ そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう 思わない
【安全安心】 ① 国内産、有機野菜、無添加などの食材を利用するのがよい	1	2	3	4	5
【安全安心】 ② アレルギーに配慮した除去食を提供するのがよい	1	2	3	4	5

	そう思う	まあ そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう 思わない
【地産地消】 ③ 精華町産の農産物を積極的に 利用するのがよい	1	2	3	4	5
【食文化の継承】 ④ 「和食」を中心とした献立を 増やすのがよい	1	2	3	4	5
【食文化の継承】 ⑤ 郷土食、行事食の献立を増や すのがよい	1	2	3	4	5
【まちづくり】 ⑥ 子育てや高齢者の支援など 地域に貢献できる学校給食 施設がよい	1	2	3	4	5

問5 小学生・中学生のそれぞれに対する学校給食を通じた食育として、どのようなことを期待しますか。それぞれについて、あてはまるものを**すべて選んで番号を記入してください**。

- ① 手洗いや正しい食事のマナーを身につける食育
- ② 自然の恵みや勤労への感謝の気持ちや食べ物の大切さを学ぶ食育
- ③ 食事の準備や後片付け等を通して、協力・協調の大切さを学ぶ食育
- ④ 地域の産物や食文化、郷土料理を学ぶ食育
- ⑤ 健康な身体を作るためのバランスの良い食事を選択する能力を身につける食育
- ⑥ 食事を通してコミュニケーション能力を身につける食育
- ⑦ 給食を通じて家庭の食生活を改善する食育
- ⑧ 偏食や痩身願望に伴う小食化などを改善する食育
- ⑨ 特にない
- ⑩ その他 ()

小学生		中学生	
-----	--	-----	--

問6 中学校給食施設は新たに整備する公共施設となります。この施設をまちづくり全体の視点からどのように捉えるべきだと思われますか。あてはまるものを**すべて番号に○印**をつけてください。

- ① 中学校給食センターとしての機能だけでよい（機能複合はしない）
- ② 調理・加工・食文化など食に関することを体験、学ぶことが可能な生涯学習の活動拠点
- ③ 災害時などにおける町の防災拠点
- ④ 少子高齢化を見据えて施設の縮減・転用（高齢者向けの配食サービス等）を可能とした施設
- ⑤ その他 ()
- ⑥ 特にない ()

